



## 表彰制度



健康経営表彰制度とは、健康経営のグループ施策で優秀な結果をおさめたグループについて、健康経営推進会議の推薦を受け経営会議で承認にされ表彰される。2024年度は4つのグループが表彰された。

### 優秀賞グループの取り組み



(参加者の声)

週の大半はダラダラとお菓子を食べたりお酒に手を伸ばす日常だったが、週末の週1,2回と決め、継続することができた。特別な食事制限や運動はなしに-4キロほど体重が減った。間食やお酒の頻度が減ったことで、朝の目覚めが良くなったり集中力が増したりとQOLが向上した。

(参加者の声)

ウォーキングキャンペーンに参加をし歩数を気にするきっかけになりました。個人目標では体力を戻すことを目標にしましたがたくさん歩いて体力が戻った気がします。休日も歩くことを意識出来たので良い時間を送れました。ポイントはAmazonに変えました。!



## 取り組み効果と今後の課題

当院の健康経営は2021年からスタートし、今年で5年目となる。昨年は、健康経営活動の報告書（本報告書）「健康経営白書」を初めて発行し公開した。これは、健康経営の活動がどのように行われ、結果につながっているかを可視化することにより、取り組みを行っている職員が活動を実感でき、当院の患者や顧客、取引企業にも健康経営の意義を広く伝えることを目的としている。また、健康経営の促進ツールとして「城西病院健康経営のしおり」を発行し、全職員に配布した。さらに、健康企業宣言東京推進協議会（会長：小池百合子）の健康宣言事業である「健康企業宣言」についても、「銀の証」につづき2024年度9月には「金の証」の認定を取得した（認定期間：令和6年9月30日～令和7年9月30日）。これは、当院が加入する東京都医業健康保険組合でも、2事業所（2024年11月現在）のみである。

これらの活動により、当院の健康経営は開始当初の2021年と比較し大きく進展したと言え、職員の行動変容に変化（スモールチェンジ）が出ていることを実感している。また、それを示すように、各指標も改善傾向が示されており、食習慣が改善できた者、運動習慣が定着した者等が増え、取り組みを強化していた喫煙率も始めて10%を下回ることができた。

一方で、健康経営の取り組み参加に積極的でない者、生活習慣改善の気持ちはあるがなかなか実践できない者等、一定数いることも事実である。昨年から始めたメイン施策「全員参加の取り組み」も2025年度で3年目となるが、まだまだ課題も多く改善の余地がある。その他の施策や取り組みについても、課題を抽出し、改善し、工夫することを続け、より実践的な健康経営を目指していく。

そして、最終目標である「ワーク・エンゲージメントの向上」「アブセンティーズム・プレゼンティーズムの低減」に繋げ、職員が心身ともに健康で働き、患者・顧客に対し価値あるサービスを提供する。

今後も職員の理解、協力を得て健康経営を継続していくことで、一人でも多くの参加があり健康意識が向上することを願う。